

特別な支援を必要とする子供への就学前から学齢期、社会参加までの切れ目ない支援体制整備

目的

① 栃木県における課題

- ・特別支援学校高等部生徒の適性等を踏まえた実習・就職先企業の確保、県内全域の関係機関等とのネットワーク形成
- ・卒業後の一貫した支援体制の確立に向けた発達障害等のある高校生の進路先への支援情報の引継ぎの拡大

② 課題を踏まえ設定した目的

連携支援コーディネーター（本県では「就労支援コーディネーター」）を活用した、企業・福祉・労働等関係機関との連携・協力による就労支援体制の構築



成果

① 得られた成果

- ・就労支援コーディネーターを活用した実習・就職先企業の開拓
→実習承諾企業の情報を県立特別支援学校間で共有し、活用
- ・特別支援学校を会場とした企業向けセミナー等の実施
→校内見学、障害者雇用の好事例紹介や関係機関による説明、県指導主事による支援情報の引継ぎの説明等により、障害のある子どもの雇用を促進

② 成果を踏まえた今後の取組

卒業後の安定した職業生活・大学等の生活に向け、個に応じたきめ細かな就労支援・引継ぎの推進

事業内容

① 就労支援コーディネーターの活動内容

特別支援学校高等部生徒の就労に向けて、生徒の希望や居住地域を踏まえ、県内全域における実習・就職先の確保を進めた。また、各学校の就労支援担当者との協力し、企業向けセミナーの開催に向けた関係機関との連絡・調整を行った。

② 「個別の教育支援計画」と「引継書」を活用した引継ぎ

教育上特別の支援を必要とする高校生について、個別の教育支援計画とともに、それまで積み重ねてきた指導・支援の内容や進路先で希望する支援について集約した「引継書」を作成し、進路先に引き継ぐ取組を実施した。

③ 普及啓発内容

企業セミナー等において、特別支援学校高等部生徒や教育上特別の支援を必要とする高校生の雇用、進路先への支援情報の引継ぎ等について、企業等に対する理解啓発を図った。

